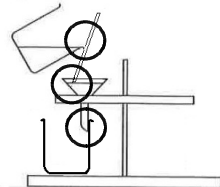
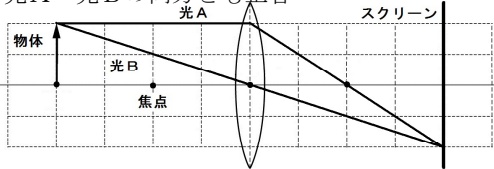

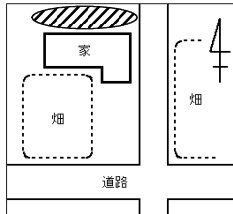

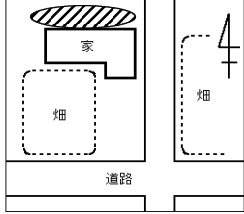
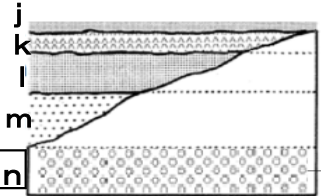


平成27年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校第1学年 理科 解答一覧 No.1

大問	中問	小問	連番	観点	概ね満足できる解答状況 成績処理システムでは 1 と入力すること	十分満足できる解答状況 成績処理システムでは 2 と入力すること
1	(1)		①	技能		○ 完答 水：イ ミョウバン：ウ
	(2)		②	知識理解		飽和水溶液
	(3)		③	思考表現		○ 完答 X：ア Y：イ
	(4)		④	技能	○ ビーカーとガラス棒が選ばれ、次の①～③のうち2つについて適切にかかれている。 ① ビーカーの口にガラス棒があてられていること。 ② ガラス棒がろ紙にあてられていること（ガラス棒の角度は不問）。 ③ ろうとの足の長い方がビーカーの内壁にあたっていること。	○ ビーカーとガラス棒が選ばれ、次の①～③について適切にかかれている。 
	(5)		⑤	知識理解		○ 蒸発させる具体的な方法が書いてあれば十分満足とする。（会話文でなくてもよい。） ・液体を加熱して水を蒸発させる。 ・放置して水を蒸発させる。 ・水を蒸発させる。
	(6)		⑥	知識理解		ウ
【授業改善の視点】 溶解度は生徒が難しいと感じる分野の一つである。興味関心を奮起・持続させるためにも生活に根差した教材教具を使用することは大切である。授業の中でしか使わない知識ではなく、日常的に繰り返し考えていくよう目を向けさせることで、より確実な知識の定着に導きたい。						
2	(1)		⑦	知識理解		実像
	(2)		⑧	技能		○完答 W：イ X：ア
	(3)		⑨	思考表現		○完答 Y：イ Z：イ
	(4)		⑩	思考表現		イ
	(5)		⑪	思考表現	○ 「物体と凸レンズまでの距離」について書いていない。 ・焦点距離以下になったため。 ・焦点距離より小さく（短く）なったため。 同意可	○ 焦点距離の言葉が使っていること。 ・物体と凸レンズまでの距離が焦点距離以下になったため。
	(6)		⑫	技能		光A・光Bの両方とも正答  ○ 直線で作図してあること。光Aはスクリーン側の焦点を通過していること。光Bはレンズの中心を直進していること。終点には矢印があってもよい。スクリーンの先まで直線を引いていてもよい。物体側の焦点を通った3本目の光を書いてもその正誤を含めて不問とし、光A・光Bの2本の光のみを採点対象とする。
	(7)		⑬	思考表現		イ
【授業改善の視点】 できる実像の大きさとスクリーンまでの距離を考えていく授業においては、丁寧に既習事項を踏まえながら、作図による論理的考察や思考過程が一つの道すじとして生徒自らがはっきりと確認でき、発展的考察まで広がりを持たせる一連の流れとさせたい。						

大問	中問	小問	連番	観点	概ね満足できる解答状況 成績処理システムでは 1 と入力すること	十分満足できる解答状況 成績処理システムでは 2 と入力すること
3	(1)		⑭	知識理解	○ 地図上に記した  の場所のみ正しい。 	○ 地図上に記した  場所とその理由、両方とも適切に答えている。  (理由) ゼニゴケは、北側で日当たりの悪い場所に生育しているから。
	(2)		⑮	技能		ウ
	(3)		⑯	技能	○ A, B, Cのうち、2つが正しい。	○ 完答 A: イ B: イ C: イ
	(4)		⑰	知識理解	○ D, E, Fのうち2つが正しい。	○ 完答 D: 胚珠が子房につつまれている E: 2 F: 網状
	(5)		⑱	知識理解	○ H, I, Jのうち2つが正しい。	○ 完答 H: ひげ根 I: 単子葉 J: 平行脈
	(6)		⑲	関心意欲態度		○ 食材(植物)名と分類の両方を正しく答えている。 ・大根 双子葉類 ・タマネギ 単子葉類 ・キャベツ 双子葉類 など
4	(1)		⑳	技能	○ 服装の変更点について、正しいものを2つ答えている。	○ 服装の変更点について、正しいものを3つ答えている。 ・長袖を着る。 ・長ズボンを履く。 ・靴を履く。 ・帽子をかぶる。 ・軍手(手袋)をする。
	(2)		㉑	知識理解		イ
	(3)		㉒	知識理解		火山活動、火山の噴火、噴火
	(4)		㉓	思考		 地層 n
	(5)		㉔	思考表現		(地層) i
	(6)		㉕	知識理解	○ 大地の変動について書いている。 ・地層に力が加わったから。 ・押し上げられたから。 など	○ 地層に大きな力が加わって、大地が変動したことを書いている。 地層に大きな力が加わって、大地がおし上げられたから。
【授業改善の視点】 地層の広がり方の規則性については、離れた地点の地層を対比させたり、ボーリング資料を活用して柱状図を並べて対比させたりしながら、地層の重なり方の共通性を見いだせることが重要である。						